

刊夕日四十月十

# 常磐每日新聞

定価 一紙五錢 一月一元五角 三月四元 半年八元 一年十五元  
電話 八三〇  
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

## 滿洲事變概要

### 福島聯隊區司令部發表

一、事變發生前の概要  
近時支那の帝國に對する態度は甚だ好ましくならぬものがあつた、今次日支間に起つた事件は大小三百余件に及び殊に其内でも駐支公使のアグレマン拒否問題、萬寶山青島事件、支那官兵の中村大尉虐殺事件は世人の今尚忘るゝことの出來ない主なる事柄である、其他で滿洲に起つたものが本年七月以降十二件にも及んで皆我が居留民や軍人軍隊に對して不法行為と爲し侮辱或は迫害を加へて居る、又八月下旬支那側の公式宴會席上では日本と一戦を交へ滿洲より驅逐せよとか日本軍人は近時實戰の經驗に乏しいが支那側は國內戰で十分修練をして居る、隨て若い者は鼻息が頗る荒い等と文武の要人が公然豪語して居るが如き、昔日の消極的挑日は漸次積極的の毎日行為と化し遂には挑戰的態度に出づるに至つた、事件發生の數日前には今回原因の當事者たる王以哲旅團長「予は日支間の現況に鑑み曩きの露支事件に於ける幹光弟（事件を起し勇敢に戦ひ死亡す）たるべし」放言し

たり、又滿洲の各地で支那人間に近々「日本勢力驅逐」とか「近日南滿で支那軍憲よりの衝突がある筈」等との風説や情報相次で傳へられて居つた、それでも我が出先官憲に於ては努めて穩健に而かも隱忍の自重して居つた。

右様の次第で支那側就中滿蒙に於ける對日態度は極度に挑戰的である、自然日支間の空氣が尖鋭化して居て重大なる事態が勃發せねばよいかと憂へて居つた矢先今回奉天附近で支那軍隊の滿鐵鐵道の暴擧が兩者間の張り切つた感情に附け火をして遂に事件を重大化するに至つたのである。

二、事變發生の動機及爾後の經過

1、これは洵に重大なることではあるが事柄其ものは極めて明瞭であり且簡單である即當日（十八日）午後十時三十分頃支那將校の率ふる二、三中隊は北大營（旅長王以哲の率ふる約七千人在營す）西南側の滿鐵線を爆破し次に柳條溝分遣隊方面に向へ目下戦中と云ふ報に接した我が虎石臺守

備中隊は直に之を救援すべく線路上南下した所が支那軍隊は北大營西南側より兵營に逃げ込んだので我中隊が之を追ふて北大營に進みせんとする兵營内に在つた支那軍主力が銃火を浴せた爲同中隊は兵營の一角に占據して對抗したが支那は更に機關銃歩兵砲等を増加したので中隊は一時苦戰に陥つ（野田中尉重傷す）たが間もなく在奉天の獨立守備第二大隊（島本中佐）主力應援する所となり共に北大營攻撃を開始したが鐵嶺方面に在りし獨立守備第五大隊（田所中佐）の主力は此報を聞き増援し概ね未明過に北大營の敵を驅逐した、營内には無数の打散藥莖を各所に小銃彈手榴彈等の實包が相當に分配された儘遺留されてあつた（續く）

## 綴り方

夕暮  
平第一校五戸石清

秋、秋、もう木は紅葉して山をかざるだらう。空はひくく雲をおうして、青いペンキをぬつた様だ。今日も暮れた。青いカーテンをのびしたやうな空に、赤い絹糸を何本

もひきのばしたやうに、お月様は、今日のことをかへり見るやうに、光線をのこしてゐる。カラスもねぐらに急いでゐるとなりの紅葉がお月様をさへぎつてゐる。かねつき堂の鐘。あわれになつてゐる。

### 高久病院

院長 醫學士 高久忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽清  
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄  
平町田町 電話五二三番

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める

川崎巡 回文庫 電六三〇番  
（申込次第規則書進呈）

### 貸切の●●●

御用命は？

獅子吼（四四九）ノ勢デ  
マツサキ  
眞先ニ……………（マツサキ）  
三九ニタクシーへ!!!

### 秋深きころ

新築福壽軒で是非御試食を

静かで味覺は明るくモダン

田町……丸新デパート角へ開店  
御同伴のお方へ小座敷設備

西洋料理 支那料理 牛鳥なべ

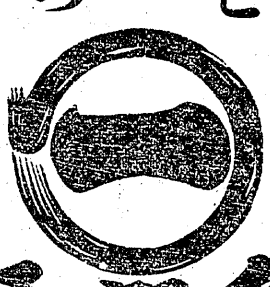
## 福壽軒

電話二十八番

### 磐城名産

鯉節と鹽から

最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目 電二二三番



## 魚問屋

### 醫學博士 推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症 肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八 志賀齒科醫院  
福島縣平町白銀町九 産婆 關口悦子

特卸治 福島縣平町五ノ廿八  
約代理 志賀齒科醫院  
販理療 福島縣平町白銀町九  
賣部部 産婆 關口悦子

器灸温ムウチラ

定價表

金拾參圓 藥及特效五週分付  
金拾圓 藥及特效五週分付  
金拾圓 藥及特效五週分付

# 一日五百車前後の

## 出炭激増する炭礦界

### 需要期に向ひ山元俄然活況

磐城炭礦界では昨秋十九萬餘噸を示したポケット(貯炭)が山元出炭制限の持續により漸減し現在では磐城入山兩礦が各一萬餘噸を所持する位の程度で貯炭は異常備炭すらもない状態にあり殊に需要期に向ひ本月に入つてから各礦共に山元は俄然活況を呈し前年同期より送炭調節率を擴大せるに反比例して磐炭の一日平均二千三百噸を初めとし何れも一割

### 平町會開く

十六日に

平町會は十六日午後一時から會議室に於いて開會左の事項を附議する筈  
△御眞影奉安庫建設の件  
△町有土地の賣却の件

### 博覽會開催準備に

## 委員六名を擧ぐ

昨日の町會議員協議會開催の絶好機會と決定  
主催母体の結成

内外の比較出炭増を示し一日五百車前後の炭車が湯本、綴、赤井三驛を中心に動いてゐる

來春櫻花の候を期して平町に開催すべき博覽會の計劃に關しては昨記の如く昨日午後一時より各町會議員がワンする、人と犬と自然との三位一體、かれらの口唇にはたゞ一發の中に命を籠めた快心の微笑が漂ふ

### 秋十

## 銃聲とゞろく

### 愛犬を引連れて

### 山野を拔渉する

秋晴れの空に其處此處の山野から銃聲が響く。いよいよあすから獵解禁である、ハンチングのおよそ軽快ないでたもで、かれらの愛犬と山野を跋渉する落ち布いた紅葉のしめりが懸に親しく、秋の最中を大

股に潤歩する山の静寂に、川のせせらぎに、ちゝと啼く……つとねらつて、ズドン！と引く、白煙の向うにバサリと鳥の羽搏き落つる音がしが澤山セッターがセッター

街のハンター一團はあすの解禁目ざして今日相馬方面へ行つた、東京方面から小名濱附近の鴨を目的に來る人が逐年増加するといふ、そのため今日の山野には、犬、々、獵銃、獵師、で大混雑だといふ、今年には合戸方面に山鳥、雉子の類が澤山棲息してゐるとの情

## 井上氏への功績章

### 安達内相から昨日到着

既報大日本消防協會長の名を以つて安達内相から平消防組井上茂作氏に贈られた功績章は昨日到着したが表彰状の文面は左記の如くである

勤務勉勵技能熟達且つ平素よく水火災の豫防に努め其功績顯著なり依つて所定の功績章を贈與して是れを表彰す

### 湯本水道協議

石城郡湯本町では十三日午後一時より各町會議員がワンする、人と犬と自然との三位一體、かれらの口唇にはたゞ一發の中に命を籠めた快心の微笑が漂ふ

### 荒田の中に嘴の長い鴨が

立つ姿！ポインターがそれをみつめる、續いて鳴り響く銃聲！壯烈だ、愉快だ、それから新舞子方面の鴨打ちもまた見逃せない、水の中へザブ／＼入って獲物をくわへてくる愛犬セッターの頭をなでながらアア歸らうとたそがれの野路を辿る背には血の浸んだ生きもの、が首を垂れて揺られてゐる

### 主体となつて組織す

べく決定是れが準備委員として役場側より酒井助役外議員中より左記の諸氏  
萩原義雄、櫻井清、井上茂作、青沼鋒太郎、野崎滿藏、關内正一  
を擧げ午後三時散會した、因に準備委員は本日午後五時よりマルトモ樓上に召集直ちに具体協議に入る由

## 獵解禁

### 天狗達が

### 續々出頭

あすから  
雌、山鳥を除き一般狩獵は愈々明日十五日から解禁されるので平署では十三日から狩獵免許状の下附受理を開始したが待兼ねて居たれう天狗達は續々出頭し、免許状を下附されたものは甲種三名乙種廿七名合計三十名に上り受附子は轉手古舞を演じた

## 農試分場の

### 鎌入れ

### 早生も中生も

### 共に收穫減る

農試試験場石城分場では五日早生種關山二十號外二種

## 今日話

六十の手習ひをそのまゝに、目下大評判の頗る風變りな學校が鹿兒島縣にある。場所は大島郡名瀬町尋常高等小學校の一室で五、六、十歳以上のお婆さん達が三十餘名集つて毎晩八時から二時間づつ、ハナ、ハト、マメの尋常一年の讀本から教へられてゐる。その先生は元同地方で小學校長を勤めてゐた牧野秀吉氏で、始めてから一週間のうちに、流石は年は取つても勉強するだけの熱心が溢れてゐるために、今年中には尋常三年生位の讀書力がつくらうといふ勢ひ。發奮の動機は字を知らないといつて、子供や孫達に笑はれたくないからだと。

## 新道路工事

### 近く着工する

平町の繼續道路改修工事本年度の南町裏十五丁目新道路工事は總工費二千八圓で近く着工

## 女生徒に

### 陽は恵む

### 雨晴れて

平第二小學校の陸上運動會は昨日雨に祟られて中止になつたが午後後の天氣豫報に

印刷御用命は總て  
常警日印刷株式會社  
電話三六〇番

平町人事  
出 生  
△南町七八伊藤忠喜氏長女芳子

# 昨朝來の暴風雨で

## 一面の泥海となる

### 平町内浸水百余戸に達し

#### 各方面被害報知續々飛來

平地方昨朝來の雨は午後六時頃より豪雨と化し小名濱測候所よりは暴風雨警報飛來する等物凄まじき光景を呈し夜半十二時頃の雨量は坪三石と計せられ人心恟々たる内に夏井川の増水

### 十七尺に達し俄然新

川の堤防欠潰せる爲め平附近の耕地は濁流逆巻く一面の泥海と化するに至り一丁目の床下浸水家屋五十八戸同非住家四戸を筆頭に田町二四、材木町十、紺屋町十三、長橋十五其他

仲間町 六七丁目、鎌

## 急行列車不通

### 常磐線一時混乱す

#### 龍田富岡間の

#### 金山トンネル一部崩潰

常磐線富岡龍田兩驛間の金山トンネルは今日十四日午前一時頃豪雨の爲め一部崩潰し青森發急行列車は中村驛に不時停車し上野發下り急行列車は平驛にて停止し上野發下り準急行列車は約二時間平驛へ遅着するなど常磐線は一時非常に混乱したが同トンネルは今朝五時漸

### 平郡線

#### 一部決潰

#### 夏井川前間

#### 徒歩で連絡

磐越東線夏井川前間約二町余に亘つて線路決潰し赤

乃至三十分遅發乘客は決潰區間を徒歩連絡し兩驛共大混雜を呈したが本日午後一時に至り漸やく復舊の見込みが着いた

### 平水道に

#### 土砂崩れ

#### 専用橋流失

井驛附近は一時泥田の如く線路埋没した爲め平驛發午前四時三十分貨物列車は同附近を徐行し川前驛にて折返し運轉以下各列車共十分舊工事を施した

## 山崩れに埋没し

### 母子二名慘死

#### 昨夜豪雨中の慘事

石城郡江名町宇東町平製水會社出張所員櫻山直江方の裏山が昨夜の豪雨の爲め同夜十二時頃五十餘坪が崩潰したので櫻山方では土砂に埋没し同人妻アキ(四)五男和夫(三)の兩名は壓死した

### トラツク埋没

平町田町神谷精米所々有福島一三五三號トラツクは神谷八郎(三)運轉し朝八時頃同町白銀町地内を疾走中上水道工事跡の土中に埋没した

## 船體大破し

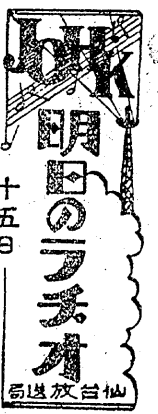
### 漁夫一名慘死す

#### 豊間港に避難中

石城郡小名濱町宇中坪太田定次郎所有秋刀魚、進豊丸(四十馬力、一七噸)は昨夜十一時半太田外九名が乗組み折柄の暴風雨を豊間漁港に避難中激浪の爲め船のロツプを切断され岩礁に乗り上げ船體を大破したが乗組員中山形縣西田川郡加茂町宇登町秋野巳吉(三)は船體大破の際頭部を強打し内出血

### 家屋倒潰

石城郡小名濱町片上町六按摩業江尻子之吉方では昨夜十時頃猛烈な大風雨の爲に同家一棟倒潰したが警戒中の消防組員に救助され幸ひ負傷は無かつたが損害は約二百圓である



明日のラジオ

天気全く快復し  
今晩も明日も秋  
晴の好天気

### 今晩の部

後六、〇〇 お話「子供の詩」久保田宵二  
後六、三〇 英語講座「初等科」(十四)村岡博  
後七、三〇 講演「青柳文庫に就て」濱田廉  
後八、〇〇 琵琶「伊豆の御難」秋本錦汀  
後八、三〇 獨唱と管絃樂「獨唱伊藤敦子 東京ラヂオオーケストラ」

### 明日の部

後九、〇〇 連續講談「伊勢の初旅」第二席神田伯竜  
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告 生齋相場  
前九、一〇 料理献立「鳥賊ずし」佐藤つぎ  
前九、三〇 家庭講座「疾病の豫防に就て」東京府知事 牛塚虎太郎

## 一家押流さる

### 消防船が救助

昨夜十一時頃石城郡好間村宇町田山田炭礦坑夫吉田正一方床上迄浸水し遂に家族諸共同村下好間方面へ押流されたので同村消防組は救助船を出し家族を救ひ出した

## 各町村被害

### 本日二時迄判明の分

石城郡内の被害は可成り甚大なるものあり各町村何れも相當被害を蒙りて居るが本日午後二時迄に判明した分は左記の如くである  
尙炭礦方面にも坑内出水其他の被害が多少あるらしく目下平署で調査中である

### 玉川村

床下浸水十五  
住吉地内矢田川堤防七間  
大原地内同三間欠潰、同  
地内橋梁流失三、水田二  
百五十町歩、畑廿町歩各  
浸水(田畑被害七百圓)

### 赤井村

赤井驛前田地  
泥海と化し、茨川堤防三  
間破る

### ツブぬれの

昨夕六  
女狂人徘徊 時頃豪  
雨中一名の老人がツブぬれ

の儘長橋地内を徘徊してゐるのを新川の増水警戒中の平署員が取調ると同人は石城郡湯本町宇二一〇七石田チヨ(六)と云ふ精神病者で自宅が浸水し家人が排水につとめてる際逃出した者である

**毛糸** 編物用具

全部新色 三二一

入荷致しました

程の命用御 相變らず

平田町 **ハシモトヤ** 糸店

# 小説 七五三

(六十)

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 畫

【載轉禁】

櫻散る夜 (4)  
『あゝ……そうか、そいつはお氣の毒なことでしたなア』  
コックはやつと合点がいつたと云ふやうに體を反らせて

『ちや、先刻庭園の方で喧嘩があつたてえのはお前さんでしたかい。いやア、それは飛んだことでしたなアちよつとお待ちなさいよ。』  
引込んでいつたかと思ふうちにちやアと水道栓の水の音がした。間もなく蓋を盆にのせて持つて来た。

『どうも有難う存じます。』  
熱帯の羊のやうに渴きつてゐた歌治は、甘露のやうな思をして一息にそれを飲み干した。

『えゝと、姐さん。貴女を撲つたてえのは日本橋の十文字さんとふんでせう』  
『あらまあ、もう御存じですか。』

『あのちやアやア行り兼ねあしないや。酔つばらうと暴つぱくなるんでね。二三日前も給仕がひどく毆飛されて額に縫ほどの瘤をこしらへましたよ。あの人にか、つちや大變ですよ。俺達の仲間ちや困つた旦那だと言つて噂して居ますが、そい



と足袋の上から抑へた。  
『ところがねえ、面白いことにはその癖、素面の時は至つて誰よりも一番無口な方で、分外に優しい人なんだが、あんなにお酒のためには變るもんでせうかな。歌治は足袋を脱いで見るとどうした機みに爪を剥がしたのか、拇指の二に紅を點し

たやうに血が滲んでゐた。コックは硼酸膏などを持つて来ていろ／＼と親切に手當をしてやつた。  
『最うお引になる時間でせうね。飛んだ邪魔物が飛込んで来て、ほんとに御迷惑さまですこと。』

『なかに。此の家は、ね貴女方の職業……といつちや失禮だが、待合や藝妓屋さんと同じこつてね。夜と晝とあべこべに朝まで打徹したお客があるんです。今夜は珍らしく早仕舞ですよ。でも彼れもう今夜も今一時になるでしやうが貴女はどうしますか俾でお歸りになるなら呼んで来て上げますが、如何なさいますか……』

『え、爪が如何かなつたんでせうよ。大したことぢやないやうですけれど』  
『それはいけませんな。ちや兎に角お入りになつて何か薬でもおつけになつたら如何ですか。』  
コックは氣の毒さうに言つた。

『御親切さまにいろ／＼と有難う存じます。それぢやあ一寸少し休まして戴きませうか、このなりぢや如何することもできませんから御遠慮なしに濟みません』  
『さあ／＼。此方へ』

### 航空思想普及

## 第二回 郡下模型飛行機競技大會開催

一、時日：来る二十五日(日曜日)午前九時より煙火合圖  
一、會場：磐中グランド  
參加者は開催前日迄でに兩主催店へ御申込の上參加券を御請求願  
ます。尙詳細は主催店に御問合せ乞ふ

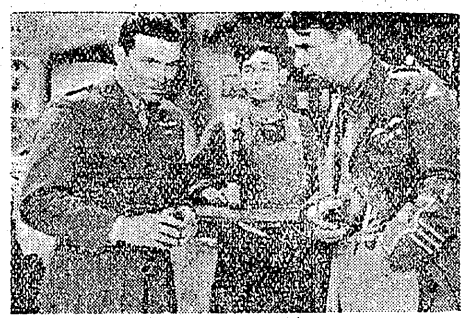
主催 三幸堂 玩具店  
後援 常磐毎日新聞社  
東京 模型飛行機研究会

### 來る十六日より五日間公開

## 大傑作 (曉の偵察)

主演 氏スメルセーパ・ドーヤテリ

忽然としてその巨姿を我映畫界に現はし絶讚激賞、好評、感嘆の限りを一身に集めて早くも斯界の問題となる記録的大空中戦映畫『曉の偵察』は他くまで



**梅毒** 淋病 皮膚病 婦人病  
**病林** 門專  
腸胃病 腸性病  
**院醫科 村松** 町南平  
七〇一話電

科人婦・科産  
**院醫坂井**  
町田町平  
番九五五話電

東亞キネマ時代劇  
**次郎吉ザンゲ**  
雲井龍之助主演

東亞キネマ現代劇  
**跳若る者**  
隼秀人主演

東亞キネマ時代劇  
**天の下の副將軍**  
【卷八 篇二第】  
柳青・郎太菊・門羅  
演共 下木・子駒原

入場料 小中大 人等大人  
五生學人  
錢十錢十  
座聲有

耳鼻咽喉科専門  
**大和田醫院**  
電一七〇

井の  
**手切商品**  
番八四 三二 平三電

正確+メガネト  
無料検眼  
各眼科院御用  
根本時計店  
眼鏡部